

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	大井保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	京都府保育協会		

平成20年 2月 19日

総 評	<p>亀岡市の西北部に位置し、周りを新旧の住宅地と田畑に囲まれた静かな環境にある保育園です。管理者のリーダーシップのもと、職員は密に連携を取り、園内には安心感と落ち着いた雰囲気を感じられます。毎日の昼のミーティングでは、職員間で子どもの状況をしっかりと伝達し、園全体で子どもを保育している様子がうかがえました。</p> <p>近年の社会状況を踏まえ、できるだけ子育ての不安や負担を取り除けるよう、子育てサポートセンター事業を行っています。毎週の育児相談や親子サロン、園庭開放の実施だけでなく、並河駅前に分園を設置し、午後10時までの延長保育や休日保育の実施など、保育園として地域に向けた様々な取り組みを実践されています。又、年2回のクラス懇談会・個別懇談、一週間いつでも参観出来る「自由参観」の実施など、親の気持ちに寄り添って支援していこうという姿勢がうかがえ、地域とともにある保育園としての役割を担っています。</p>
特に良かった点(※)	<p>複数の職員が時間差で出勤し、保育に携わるしくみになっていますが、毎日昼に行う職員ミーティングやミーティング記録の回覧により、子ども一人ひとりの様子を非常勤職員を含め全職員に丁寧に、漏れなく伝わるよう取り組んでいます。</p> <p>子育てサポートセンター事業を中心とした、育児支援事業に対する取り組みが充実しています。総評に記載した以外にも、出前保育と称して隣の公園で紙芝居や手遊びの実施、同時に育児相談も受け付けています。又、園内に創遊館がありコーナーあそび専用保育室があって、地域の子育て家庭に開放しています。休日保育は、ゴールデンウィークや年末年始も希望があれば実施しています。</p> <p>安全面では、正面玄関や駐車場など3ヶ所への防犯カメラの設置や各保育室から全館に一斉放送が可能な設備、全職員に防犯ベルを支給するなど緊急時の対応を積極的に整備しています。</p>
特に改善が望まれる点(※)	<p>指導計画などの書類関係は、適切に記録・管理されています。又、定期的に評価・見直しも実施されていますが、その自己評価結果を次年度に有効に活用されていません。しっかりとした記録がありますので、それらから読み取れる課題などを次年度の計画に反映され、更なる保育の質の向上に取り組まれることを期待します。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	大井保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成20年2月19日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A	A
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	A	A
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。 (当面の間、「事業計画」についてのみ評価を行う)	B	A
		② 計画が職員や利用者等に周知されている。	B	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	A

【自由記述欄】

・理念・基本方針は明文化されており、園のしおりやパンフレット、ホームページに記載されています。又、職員に対しては毎週月曜日に早出職員によるミーティングを実施し、園長より理念に関わる話しがされています。新人職員に対しては新人研修時に、保護者にも入園説明会の際に、園の理念を説明しています。

・事業計画は毎年、前年度の保育内容や職員会議で議題にあがった内容を反映し、具体的に明示されています。計画内容は園のしおりにも掲載されており、保護者や職員に周知しています。

・管理者は、毎週月曜日の朝礼・月1回の全体職員研修で園の状況や方針を伝えており、保育内容や保育の課題等に対しても主任と協同し、適宜対応しています。又、地域の子育てサポート事業や一時保育の実施、分園での休日保育や午後10時までの延長保育(希望制)の実施など、組織のリーダーとして指導力を発揮しています。

・行政からの遵守すべき法令等も、全職員に回覧し周知徹底しています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	非該当
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	非該当
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	A	B
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	A
		③ 定期的な個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	A
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	A	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	A
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	B	A
II-4 地域との交流と連携	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	B
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	A	A
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	A	A
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		A	A	

【自由記述欄】

・管理者は会計士と法人のあり方や財務などについて定期的に検討し、法令や雇用・労働などに関する情報や事業経営をとりまく環境を把握するように努めています。

・必要な人材に関する基本的な考え方が文書化されています。人事考課は、加点方式で管理者により実施されていますが、将来的には評価や判断材料についての明確な基準の導入を検討しています。有給休暇の消化率は、毎月園長が確認しており各職員が消化できるように配慮しています。又、年度途中で園長と職員の面接を実施しており、職員の就業状況や意向を把握するよう努め次年度の体制に反映するようにしています。

・職員は研修計画と課題に基づいて各種研修に積極的に参加しています。又、毎月1回園内研修を実施し、組織が目指す保育を全職員で共有出来るように取り組んでいます。職員の研修内容はクラスだよりに記載し、保護者にも研修成果を報告しています。今後は、研修成果に関する定期的な評価を行い、次の研修計画に反映することを検討しています。

・実習生に関しては、受け入れに対するマニュアルを作成しており、積極的に受け入れています。個別の実習計画を作成し、実習生が計画的に学べるように配慮しています。

・事故発生時のマニュアルや送迎安全マニュアルを作成し、職員に周知しています。正面玄関や駐車場など3ヶ所への防犯カメラの設置や各保育室から全館に一齐放送が可能な設備など安全面に配慮しています。又、職員は防犯ベルを常に身に付けており、緊急時への対応も整備しています。感染症などの案内も随時掲示しており、保護者への情報提供も継続的にを行っています。

・ボランティアに対して、地域の中学生などの職場体験を含め積極的に受け入れていることが確認できました。受け入れに対する意義や方針も明文化されていますが、受け入れごとに会議等での継続的な説明は実施されていません。今後は、受け入れ時に職員に対し意義や方針を説明されるなどおよいでしょう。

・地域の子育て家庭を対象にした子育てサポートセンター事業を実施し、出前保育と称して近隣の公園で紙芝居や手遊びを行ったり、同時に育児相談も受け付けています。又、駅前の分園では午後10時までの延長保育(希望制)や休日保育を実施し、多様な働き方を応援しようとする姿勢があります。

・地域の中学生の保育見学や職場体験を数多く受け入れています。民生・児童委員や自治会との定期的な会議に出席し、地域の子どもの様子や福祉ニーズの動向を把握するよう努めています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A	
	Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	A	A	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	A	A	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	A	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	B	A
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	B	B
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			B	B	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A	A	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A	A	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	A	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		A	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	B	A	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	A	A	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	B	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	A	A	

【自由記述欄】

・保護者に対してクラス懇談会の他に、年2回の個人懇談を実施しています。毎月の誕生会や保育参観の他に年2回、保護者が一週間の間、いつでも参観出来るようにしています。又、運動会や生活発表会など、各行事ごとに保護者アンケートを実施し定期的に保護者の園に対する意向を把握するように努めています。

・緊急携帯連絡メールやバス位置確認システムを導入し、リアルタイムに園からの情報を提供出来るよう整備しています。

・苦情解決に対するマニュアルを整備し、その内容は、園内や園のしおりに明示し保護者に知らせています。園に寄せられた意見や苦情に対し、迅速に対応するよう努めており、苦情内容や解決結果を公表しています。

・この第三者評価受診をきっかけに園内に評価委員会を設置し、職員による自己評価を実施しています。

・保育計画の中で個々の保育場面について、標準的な実施方法が定められています。保育計画は、定期的に見直し各会議で内容を検討し、改善に努めています。

・統一した書式による個別の成長記録があり、それに子どもの生活や発達の状況、家族構成等を記録・整備しています。又、毎日職員ミーティングを実施し、子どもの様子や連絡事項などに関する情報を共有しています。それらの内容は、ミーティング記録により出席出来ない職員や非常勤職員にも周知徹底されています。

・利用希望者に対して、ホームページやリーフレットによる案内や見学希望を受け入れています。新入園児は入園説明会にて保護者にわかりやすく、しおり等により方針や園の生活面での決まりごとの説明を実施しています。保育の継続性については、他の園へ転園する場合、お知らせ表に園での記録を記載し保護者にお渡ししています。保護者の判断で、お知らせ表を転園先に提出しています。

・子どもの身体状況や生活状況を成長記録や児童票により、記録しています。また、全体会議や職員ミーティングにて子ども一人ひとりの発達状況を確認し、個別対応を要する園児については、それぞれの子どもの特性に応じて対応するよう心がけています。保育計画、指導計画は適切に策定されており、定期的に評価・見直しを実施しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【付加基準】 評価結果対比シート 保育所

受診施設名	大井保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成20年2月19日

【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1)発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	A	A
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	A	B
	(2)健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	非該当
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	B	B
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

【自由記述欄】

・保育計画が保育所の理念・基本方針に基づいて作成されています。指導計画も子どもの育ちを大切にするという事に重点を置き作成しています。指導計画は毎月、評価を実施しておりますが、新たな計画を策定する際に、その評価内容が十分に反映されているとは言えません。適切に評価を実施されていますので、それらの課題を次回の計画に反映されると、尚良いでしょう。

・登園時や保育中の子どもの健康管理に関するマニュアルを作成しています。日々の子ども一人ひとりの健康状態は、毎日の職員ミーティングで周知し、適切に対応しています。又、それらの情報はミーティング記録により全職員が共有出来るようにしています。

・健康診断の結果は、健康手帳に記録し、全職員や各保護者へ伝達するとともに保育に反映するよう努めています。

・保育士は子ども達と関わりながら、落ち着いた雰囲気の中で食事を楽しんで食べるように心がけています。

・給食は、栄養のバランスを考え食材にもこだわり提供していますが、その内容を試食会や給食だより等で保護者へお知らせするなど、家庭との連携に努められると尚良いでしょう。アレルギー疾患を持つ子どもに対して、対応マニュアルを作成しており、医師の指示を得て除去食を提供し適切な対応を行っています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3)保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	(4)保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	B

【自由記述欄】

- ・各保育室は清潔に保たれています。園の内外には、プランターに沢山の花を植えており、子どもたちが心身ともに安らげるよう環境に配慮しています。又、全ての保育室に空気清浄機、トイレにはジェットタオルが整備されています。
- ・各保育室に畳敷きのコーナーが設けられ、子どもが寝転んだり座ったり出来る場所があります。又、それぞれ保育室に玩具があり自由にあそべるようになっています。
- ・子ども達に対し、保育士は穏やかな態度で接しており、落ち着いた雰囲気の中で保育が実践されています。
- ・鼓隊やリミック、絵画、専門講師による体操や囲碁等、さまざまな活動を行っています。心と体を整え集中力を養うという目的で、定期的に保育に座禅を取り入れています。
- ・長時間にわたる保育に対しては、家庭と同じような雰囲気を作り出すことに配慮しています。又、各保護者への伝達事項もミーティングや書面での連携により適切に行われています。
- ・障害児保育のための環境整備に努めていますが、障害児保育に対する園としての考え方を保護者に説明すると、なおよいでしょう。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1)入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	(2)一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A
	A-3 安全・事故防止	(1)安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A
② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている			A	A
③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている			非該当	非該当
④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている			非該当	非該当
⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている			非該当	非該当

【自由記述欄】

・日常的な情報交換は、送迎時の保護者対応や連絡帳などで知らせるようにしています。又、保護者の子育て相談は個人懇談などの実施により積極的に取り組まれています。育児に関する情報誌を適宜配布するなど、保護者の養育力向上に寄与出来るよう努めています。

・虐待に関しては、マニュアルを整備し、行政との連携や児童虐待の通告にあたっての連絡先を明示しています。

・一時保育は、専用の保育室を設けており、専任の保育士のもと在園児との交流などを実施しています。分園では、日曜、祝日、年末等の休日にも保育を実施しています。

・衛生管理マニュアルに基づき、調理場は清潔に保たれています。食中毒に関するマニュアルも整備し、それに沿った対応を行っています。